

独立二十五周年記念

第十八回 明月之會



平成二十八年五月五日(木・祝)

午後一時半始

於・国立能楽堂

東京都渋谷区千駄ヶ谷四一八―一
☎〇三(三四二三)―一三三一

独吟 大

番外曲

磯

加藤 眞悟

狂言 咲

嘩

野村 万作

仕舞 通小町

梅若万三郎

能 卒都婆小町

加藤 眞悟

一度之次第

独立二十五周年記念 第十八回 加藤眞悟明之會

平成二十八年五月五日(木・祝)
午後一時半始
於・国立能楽堂

解説

表 きよし
(国士館大学
21世紀アジア学部教授)

(一時五十分頃)

独 吟

番外曲
大 磯

加藤 眞悟

狂 言

咲 嘩

シテ 太郎冠者 野村 万作
アド 主 飯田 豪
アド 咲嘩 深田 博治

休憩 二十分

仕 舞

通小町

梅若万三郎

梅若 久紀
伊藤 嘉章
青木 一郎
八田 達弥

通小町(かよこまち)：百夜通えば逢瀬が叶うという小野小町の言葉信じ、九十九夜通ったが百夜を目前に憤死した深草少将と小野小町が、ともに死後、僧の回向によって成仏する過程を描く能から、小町の言葉は虚言であったのかと詰め寄る様、正装して百夜目を迎える姿、そして満願祝宴の酒を飲まず、小町も少将も成仏できた最後の場面を紋付袴で舞う。(観阿弥作)

能

卒都婆小町

一度之次第

シテ 小野小町 加藤 眞悟
ワキ 高野山僧 安田 登
ワキツレ 従 僧 高橋 正光

笛 松田 弘之
小鼓 幸 信吾
大鼓 亀井 広忠

後見 中村 裕
梅若万三郎
梅若万佐晴

地謡
青木 健一 遠田 修
古室 知也 伊藤 嘉章
梅若 泰志 観世 喜正
長谷川晴彦 八田 達弥

(終了時間四時三十分頃)

主催 加藤眞悟明之會

◆事前講座のご案内

本公演の見所などについて解説いたします。

日時 H.28.4月23日(土) 午後2時〜4時

会場 眞謡会田端教室稽古場

(東京都北区田端3-21-5)

講師 加藤眞悟

参加費 1,000円

(チケット購入者・友の会会員は半額)

大 磯

陸奥(行脚をする都の僧が豪雪のため帰京する途上、大磯まで戻ってきた。大雪のなか小さな庵にたどり着く。ここは昔、虎御前の庵であった。庵の主(シテ)が、虎御前の身の上と曾我祐成が富士の裾野で頼む。(中入)僧が夜もすがら読経すると、虎御前の霊(後シテ)が現われ回向に感謝し舞を舞う。夜明けと共に姿が消える。(三番目物 作者不詳)

咲 嘩

主人(アド)は都にいる伯父を連歌の師匠に頼もうと太郎冠者(シテ)を迎えにやる。太郎冠者は伯父の家も顔も知らないので大声で探し歩いていると咲嘩(アド)という悪人が伯父に成りすまして一緒に主人の元に帰る。人違いの咲嘩を都に帰そうとするが...

卒都婆小町

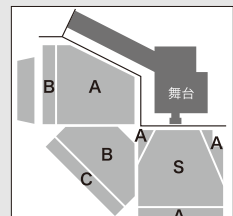
物乞いの老女(シテ)が道端の朽ちた木に腰をかけ休む。高野山の僧が通り、仏の教えを説く卒都婆に腰掛けていると老女を諭すと、逆に言い返され、たじろいでしまう。この老女こそ小野小町の成れの果てである。僧に問われるまま、これまでの身の上を語る。すると突然、深草少将の怨霊が取り憑いて、成就を目前に命果てた無念の百夜通いの様を見せる。怨霊の去った後、小町は静かに悟りの道に入ろうとする。(観阿弥作)



加藤眞悟かとうしんご：昭和33年生。故二世梅若万三郎及び三世梅若万三郎師に師事。観世流準職分。日本能楽会会員(重要無形文化財 能楽の保持者)。日本大学文学部哲学科卒。在学中に現梅若万三郎師に師事し、昭和62年より梅若研究会例会にてシテを勤める。同年能楽養成会教程終了。各地にて能の普及に努め、海外公演にも多数参加。平成25年新作能「将門」(梅若万三郎監修、小林保治作)、平成26年復曲能「真田」(梅若万三郎監修)の初演のシテを勤める。平成11年より毎年「明之會」を開催する。一方「眞謡会」を主宰して愛好者に謡仕舞の指導をしている。

【入場料】

指定席S 一〇,〇〇〇円
指定席A 八,〇〇〇円
指定席B 六,〇〇〇円
指定席C 四,〇〇〇円
学生割引 各一,〇〇〇円引き
(25歳まで)



【お問い合わせ・お申し込み】

●加藤眞悟 ☎045(481)8704

ウェブサイト <http://katoshingo.com/>

携帯Eメール shingo555kato@ezweb.ne.jp

●梅若研究会 ☎03(3466)3041

明友の会会員募集

入会金一,〇〇〇円/年会費一,〇〇〇円

特典 ・明之會公演の入場料一割引(一会員三席まで)

・会報や演能、勉強会のお知らせなどお届けします

表写真「卒都婆小町」梅若万三郎(写真提供・前島吉裕)

能を愉しむ

能楽体験講座

能の話、謡と舞の基本の型の体験をします

『鶴亀』を謡ってみよう

日時 ■平成28年5月26日(木)、6月16日(木)、7月20日(木)、8月31日(木)、9月21日(木)、10月20日(木) 各正午〜1時半
会場 ■眞謡会田端教室稽古場 北区田端3-21-5(駒込駅徒歩7分)
講師 ■加藤眞悟
受講料 ■20,000円(6回)、教材費3,950円<観世流初心謡本(上)五番綴>が別途かかります。
●ご予約・お問い合わせ ☎045-481-8704 加藤眞悟